

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 52 号

第 52 週(12月21日～12月27日)

発行年月日:平成22年(2010年) 1月 7日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

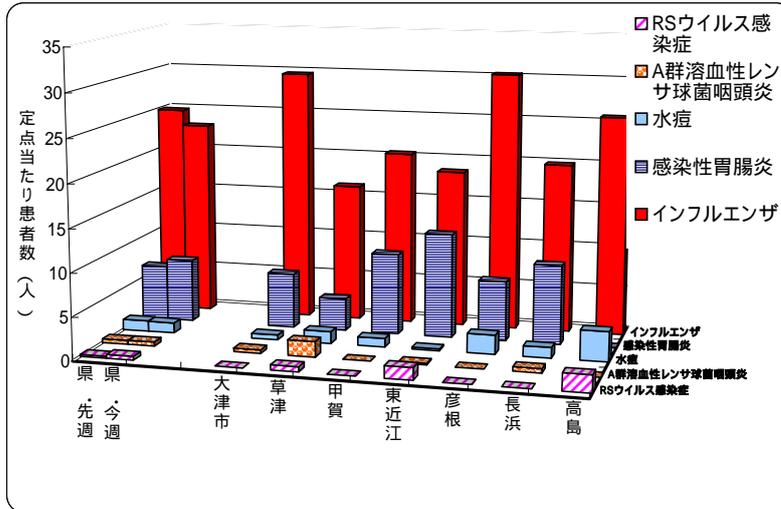
**インフルエンザの発生は、4週連続して減少**  
**インフルエンザ警報は、発令継続中**  
**感染性胃腸炎の発生は、増加傾向**

定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週より減少しています。今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎等で、減少した疾患は、インフルエンザ、突発性発疹等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。また、インフルエンザの保健所管内別発生状況は、別紙グラフに示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、インフルエンザでは先週より減少しているものの、全ての保健所管内で警報発生基準値を超えており、第43週(10/19～10/25)以降県内全域にインフルエンザ警報が発令されています。また、**インフルエンザ警報の解除は、終息基準値(10.00)を超える全ての保健所管内人口の合計が、県人口全体の30%未満になった時点で解除します。**

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名の届出がありました。

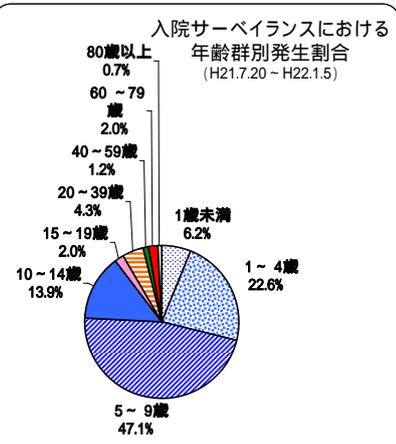
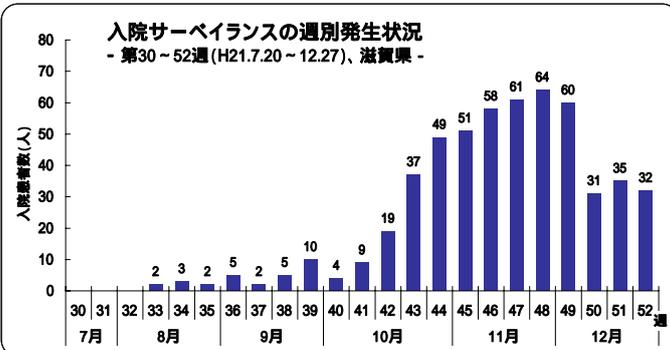
#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第52週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症の順に多くなっています。

インフルエンザは、大部分の保健所管内で、先週より減少していますが、大津市および高島で、先週より増加しています。感染性胃腸炎は、大津および高島以外で、先週より増加しています。

#### インフルエンザの入院サーベイランスにおける入院患者の発生状況



第30～52週の週別発生状況は上記グラフのとおりです。第53週(12/28～1/3)および平成22年第1週(1/4～1/10)は1月5日現在で、入院患者数は22名となっています。また、平成21年第30週～平成22年第1週(1/5現在)の年齢群別発生状況は左記のグラフのとおりです。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～五類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (52週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (52週)	全国 (52週)	滋賀	全国 <sup>(*)1)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	251	26,028	282	28,419
三類感染症	コレラ	0	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	0	178	<sup>(*)2)</sup> 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	27	3,809	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	54	0	43
	A型肝炎	0	0	114	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	92	2	104
	マラリア	0	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	8	685	10	893
五類感染症 <sup>(注)</sup>	アメーバ赤痢	0	10	759	10	872
	ウイルス性肝炎	0	3	211	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	139	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	103	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	9	1,400	11	1,568
	梅毒	0	3	670	5	839
	破傷風	0	3	111	5	123
	急性脳炎	0	8	482	1	190
	風しん	0	2	147	2	309
	麻しん	0	7	736	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)3)</sup>	<sup>(*)4)</sup> -	138	12,405	-	-

- \* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)
- \* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
- \* 3: 感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:7月24日～8月24日)。
- \* 4: 感染症法の一部改正(8月25日施行)により届出が不要となったため、集計は行っていません。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第52週(12/20～12/27) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核	315例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	18例	四類感染症: A型肝炎	2例	デング熱	1例	五類感染症: つつが虫病	23例	オウム病	1例	レジオネラ症	6例	五類感染症: アメーバ赤痢	12例	梅毒	5例	風しん	1例	麻しん	2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	11例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	4例
-------------	-----------	------	--------------------	-----	-------------	----	------	----	--------------	-----	------	----	--------	----	---------------	-----	----	----	-----	----	-----	----	-------------------	-----	-----------------	----	---------	----	------	----

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第47～52週、11/16～12/27)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	47週		48週		49週		50週		51週		52週	
	(11/16～)	(11/23～)	(11/30～)	(12/7～)	(12/14～)	(12/21～)	48	49	50	51	52	
インフルエンザ	47.67	51.44	36.23	30.92	24.75	22.90						
RSウイルス感染症	0.03	0.03	0.03	0.03	0.23	0.45						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0	0.10	0.03	0.06	0.10						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.55	0.29	0.29	0.45	0.48						
感染性胃腸炎	3.00	3.61	4.74	5.19	6.45	7.35						
水痘	0.97	0.74	1.23	0.77	1.23	1.19						
手足口病	0.19	0.23	0.19	0.03	0.10	0.13						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0	0.03	0.06	0.03						
突発性発しん	0.23	0.29	0.26	0.48	0.39	0.32						
百日咳	0	0	0.06	0.03	0	0.03						
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.35	0.16	0.39	0.13	0.13	0.19						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0	0	0	0.13	0.13	0.13						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14						
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0.14	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

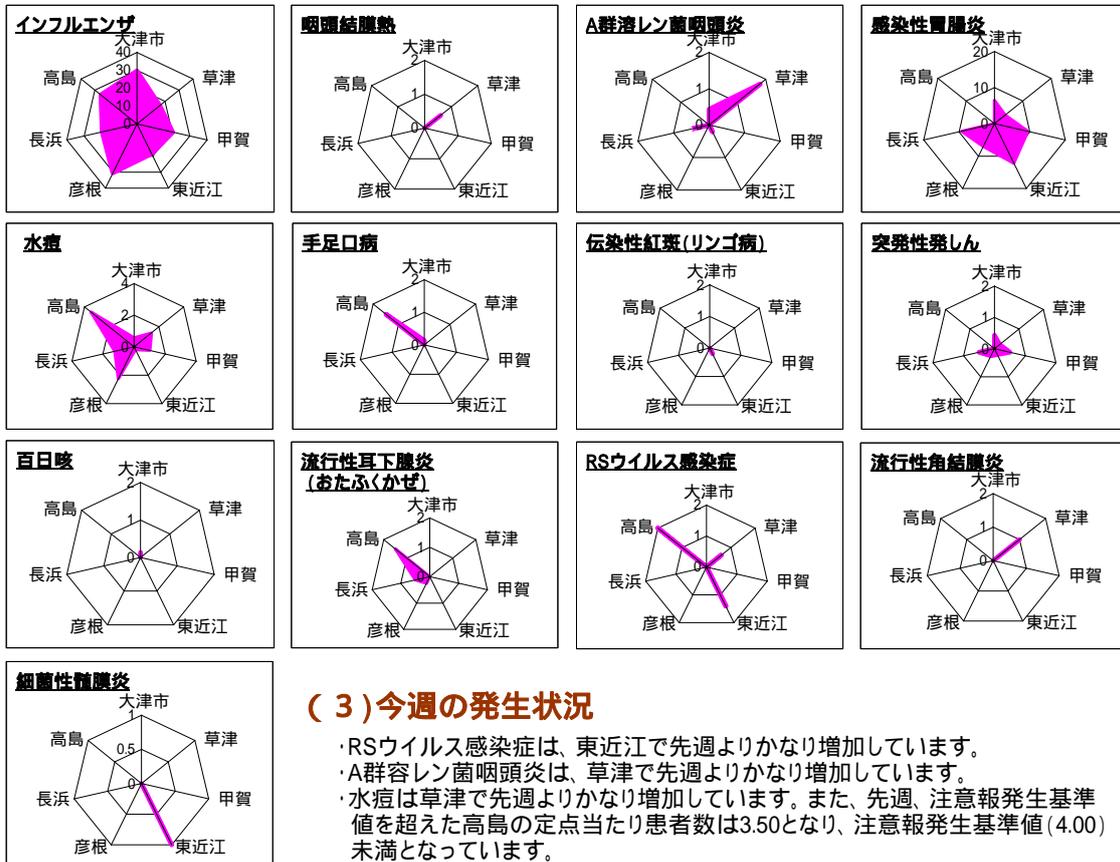
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第52週、12/21～12/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	22.90	29.64	16.22	20.43	18.50	30.29	19.86	25.67	
RSウイルス感染症	0.45	0	0.60	0	1.40	0	0	2.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.10	0	0.60	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0.43	1.80	0	0.20	0	0.50	0	
感染性胃腸炎	7.35	6.43	3.80	9.50	12.20	7.00	9.25	0	
水痘	1.19	0.57	1.40	1.00	0.20	2.25	1.25	3.50	
手足口病	0.13	0.14	0	0	0	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.32	0.43	0.20	0.50	0.20	0.25	0.50	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0	0	0	0	0.25	0.50	1.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 10 20 30  
定点当たり患者数(人)

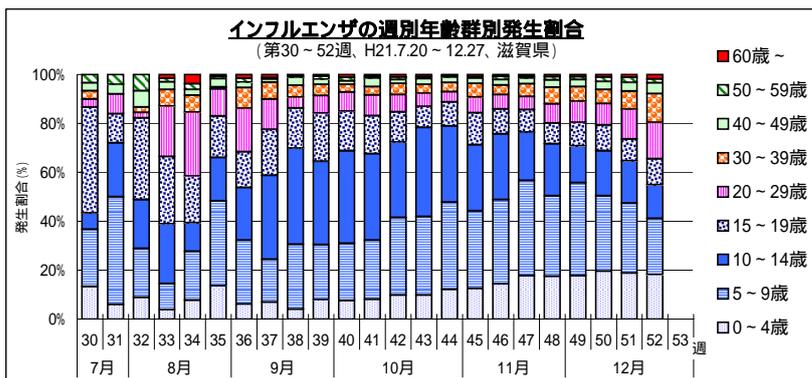
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

- ・RSウイルス感染症は、東近江で先週よりかなり増加しています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、草津で先週よりかなり増加しています。
- ・水痘は草津で先週よりかなり増加しています。また、先週、注意報発生基準値を超えた高島の定点当たり患者数は3.50となり、注意報発生基準値(4.00)未満となっています。

インフルエンザの週別年齢群別発生割合

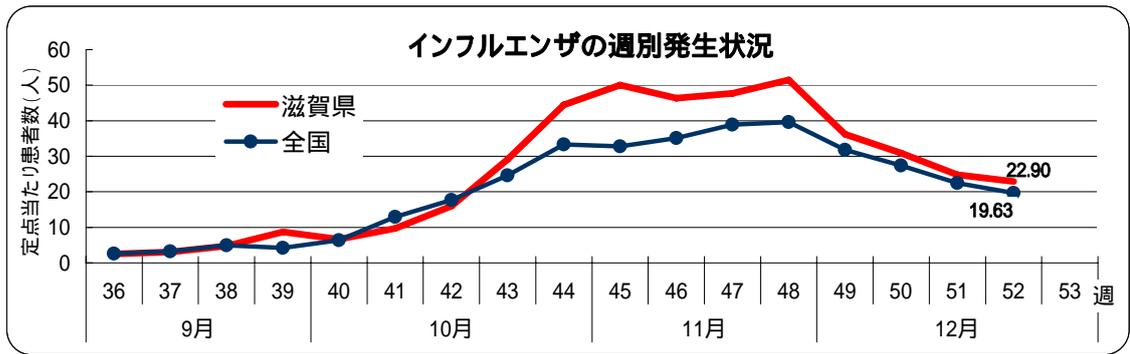


第30～52週における年齢群別発生状況は下記のとおりです。

- 0～4歳 18.1%
- 5～9歳 23.0%
- 10～14歳 13.7%
- 15～19歳 10.8%
- 20～29歳 14.8%
- 30～39歳 11.6%
- 40～49歳 4.5%
- 50～59歳 1.7%
- 60歳以上 1.8%

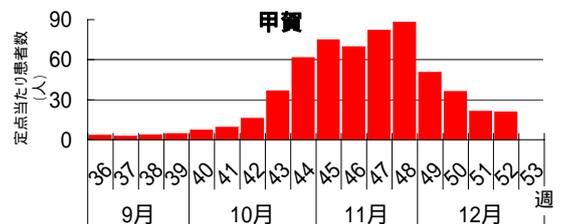
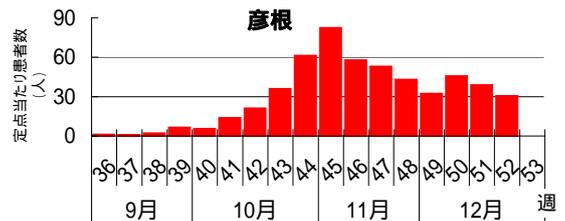
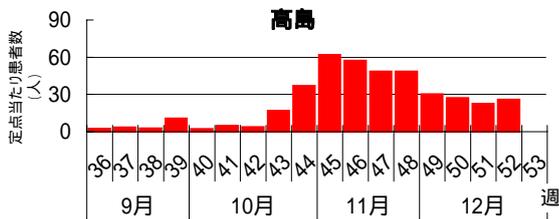
# 滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

## 滋賀県・週別発生状況

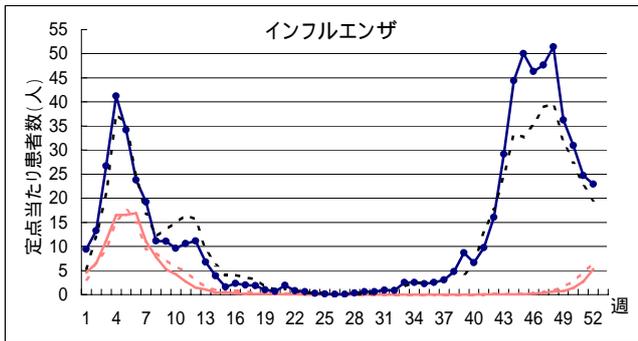


## 保健所管内別・週別発生状況

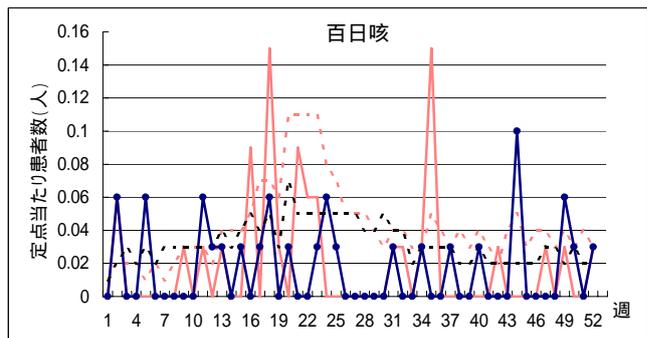
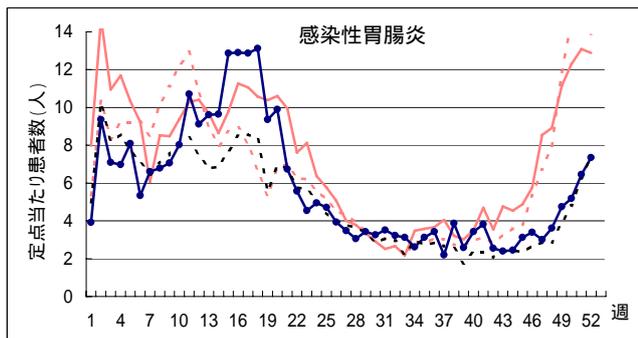
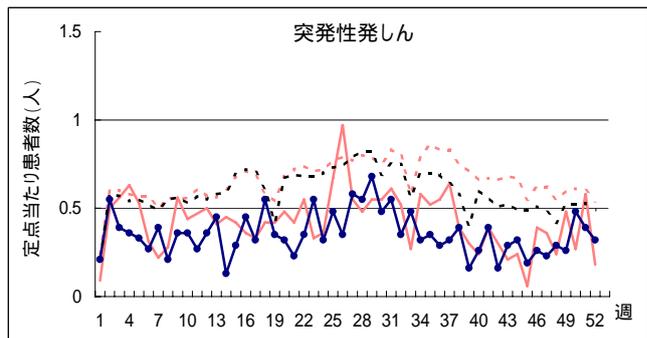
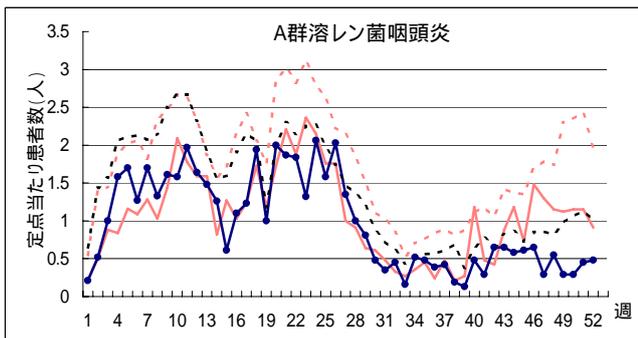
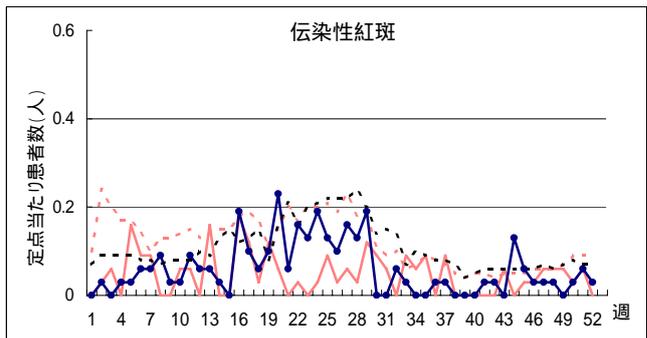
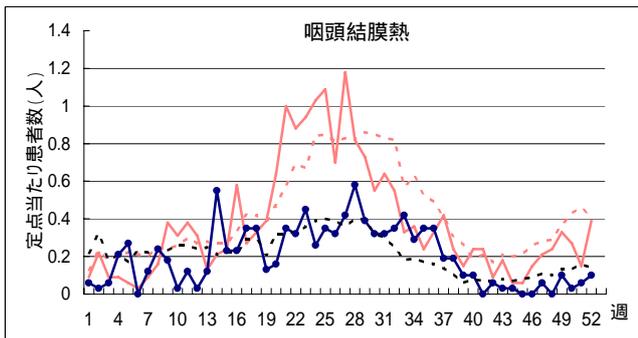
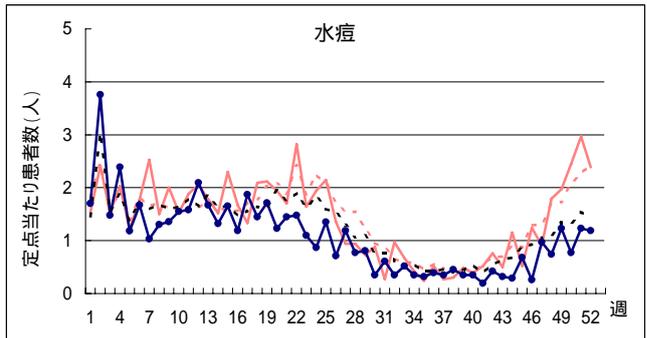
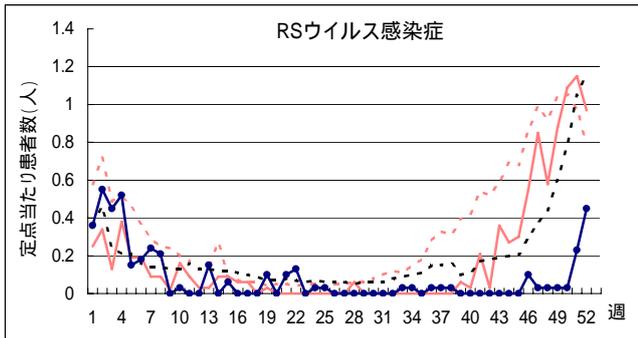
[トップページに戻る](#)



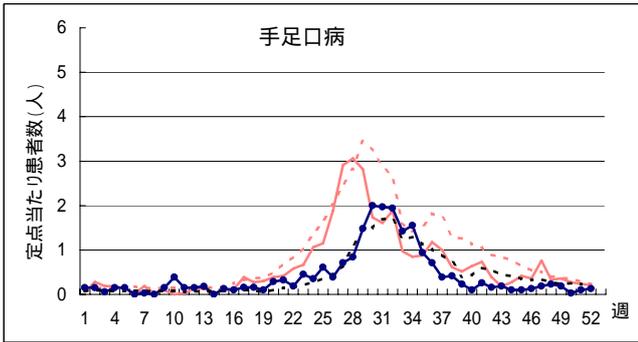
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~52週、H20.12.29~H21.12.27)



H20  
 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H21  
 滋賀 (solid blue line)  
 全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～52週、H20.12.29～H21.12.27)



H20 { 滋賀 ————  
       全国 ······  
 H21 { 滋賀 ————  
       全国 ······

